

DESIGN TALK SESSION

NIGHT FORUM

ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館における 現代工芸作品収集の歩み

—日本美術コレクションを中心に—

1851年のロンドン万国博覧会の収益をもとに、1852年に産業博物館として開館したヴィクトリア・アンド・アルバート博物館(略称V&A)。世界をリードする芸術とデザインの博物館としてよく知られている。収蔵作品は280万点、近年ではスコットランドのダンディに別館を設けた(建築:隈研吾)。

V&Aの工芸部門を長く担ってきたのが、ルパート・フォークナーさん、『国際工芸アワードとやま』でお世話になった方だ。そのルパートさんの後任として活躍しているのが、今回ゲストでお呼びした山田雅美さん。金曜日のひとときV&Aの旅に参加しませんか。(桐山記)

日時 **1月27日**  18:30 ~

会場 トトン
富山市問屋町1-9-7



定員 20名

参加費 1,000円 (軽食付き)

申込み 「氏名/所属/連絡先」を明記の上、
下記メールアドレスあてにお申込み
ください。

dc5@toyamadesign.jp



締切り **1月23日** 



GUEST SPEAKER

山田 雅美 氏

Victoria & Albert Museum
学芸員

1984年、東京都生まれ。ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館、東洋部日本美術担当学芸員。国際基督教大学卒業後、シティ・ユニバーシティ・ロンドンにて修士号取得。

ロンドンの大手オークション会社の日本美術部門勤務を経て、2018年より現職。博物館における担当エリアは、江戸時代の漆芸、根付、浮世絵から日本の現代工芸まで幅広く、博物館の設立年より170年間にわたって収集された48,000点を超える日本美術コレクションを扱う。

主催

(株)富山県産業高度化センター

【お問合せ】

富山県総合デザインセンター (高岡市オフィスパーク5番地)

TEL: 0766-62-0510 / FAX: 0766-63-6830 / toyamadesign.jp